

軽井沢絵本の森美術館 2025年夏展

プレスリリース

「イソップ童話とどうぶつ絵本」

会期：2025年6月26日（木）～2025年10月6日（月）

「どうぶつのお話」としてのイソップ童話 絵本の中のどうぶつを見つめる

「寓話（ぐうわ）」とは、動物同士のかけあいや、動物の行動によって教訓や風刺を伝えるお話です。その代表であるイソップ寓話は、簡潔でわかりやすい内容に加え、登場する動物がキャラクターのように誇張されている点で、童話としても子どもたちに親しまれてきました。実際にイソップ寓話のお話を読んでいくと、動物たちのイメージや特徴を活かした部分が見えてくることがあります。

例えば、「ライオンとネズミ」があります。ライオンがネズミを見つけ食べようとしたところ、命ごいをされ、ライオンは見逃します。その後、ライオンが網にかかってしまったとき、ネズミが網をかみ

ちぎって助けてくれる内容です。ライオンの「大きくて強い、百獣の王」のイメージと、ネズミの「小さくて小回りがきき、強い前歯を持つ」特徴が反映されています。イソップ童話は、動物のお話としての魅力も持つのです。

本展では、佐久市在住の絵本画家・いまいあやの氏の『イソップ物語 13のおはなし』に登場する動物を中心に、さまざまな動物絵本を原画とともにご紹介します。例えばペットとしても身近な「犬」について、いまい氏の『チャッピーの家』（BL出版、2010年）やH.A.レイ『プレッツェル（Pretzel）』（1944年）を通して、絵本における犬の描かれ方を見ていきます。このほかにも、「森の建築家」とも呼ばれるビーバー親子が主役の『ぼくたちおやこはだいくさん（Die Biberburgenbaumeister）』（パウル・マール作、1998年）など、動物の特性を活かした動物絵本を、原画とともに多数ご紹介します。動物の特徴とキャラクター性を照らし合わせながら、動物絵本の世界を楽しんでいただけたら幸いです。

いまいあやの「ライオンとネズミ」『イソップ物語 13のおはなし』
©2012 Ayano Imai/BL 出版



本展の中心となる、どうぶつ絵本を多数手がける画家・いまいあやの プロフィール

1980年にイギリス・ロンドンに生まれ、イギリス・アメリカ・日本で育つ。武蔵野美術大学出身。2003年に『108ぴきめのひつじ』（文溪堂）、2004年に『ベルナルさんのぼうし』、2006年に『チャッピーの家』、2009年に『くつやのねこ』、2012年に『イソップ物語 13のおはなし』（4作すべてBL出版）がポローニャ国際絵本原画展にて入選したのをきっかけに、国内外で作品が読まれている。また、『くつやのねこ』は、2011年のブラティスラヴァ世界絵本原画展での子ども審査員賞を受賞している。現在は軽井沢町にほど近い、長野県佐久市に在住。

【企画展概要】

タイトル	軽井沢絵本の森美術館 2025年夏展「イソップ童話とどうぶつ絵本」
会期	2025年6月26日（木）～2025年10月6日（月）
場所	ムーゼの森 軽井沢絵本の森美術館 第2展示館
開館情報	◆開館時間 9：30～17：00 ※最終入館は閉館の30分前 ◆休館日 火曜日 ※7月～9月は無休 ◆入館料 大人1,000円、中・高生700円、小学生500円、小学生未満無料 【イルツおもちゃ博物館とのセット券】大人1,500円、中・高生1,000円、小学生700円、小学生未満無料

軽井沢絵本の森美術館 2025年夏展

「イソップ童話とどうぶつ絵本」

会期：2025年6月26日（木）～2025年10月6日（月）

プレスリリース

展示の見どころ

・イソップ童話を通して、どうぶつ絵本の世界を堪能！

イソップ童話は、おもに擬人化された動物たちが登場し、教訓や風刺を伝える「寓話(ぐうわ)」のなかまです。動物の持つ特徴(身体的特徴や習性など)がお話に取り入れられていることも多く、「動物絵本」としての魅力も持っています。本展では、佐久市在住の絵本画家・いまいあやの氏の『イソップ物語 13のおはなし』に登場する動物を中心に、さまざまな動物絵本を原画とともにご紹介します。

館内には「鳥」「犬・ネコ」、「うさぎ」など、イソップ童話に登場する動物を中心に、動物の生態や習性を紹介しています。さらに、動物たちの持つ習性が、絵本のなかでどのように活かされているのかも伝えています。絵本といっしょに動物について学ぶことで、大人だけでなく子どもたちにも、私たちが暮らす世界と動物について見つめるきっかけにもなります。この夏はぜひ、絵本を通じてたくさんの動物について興味を持っていただけたら幸いです。

さまざまなどうぶつ絵本の原画とともに、物語から見える動物の習性や特徴を紹介



・いまいあやの氏の絵本原画、8月よりイベントも開催！

本展の展示作品の中心となるのが、軽井沢にほど近い佐久市在住の絵本画家・いまいあやの氏の動物絵本原画です。『イソップ物語 13のおはなし』をはじめ、『108ぴきめのひつじ』(文溪堂、2011年)、『ベルナルさんのぼうし』(BL出版、2014年)、『チャッピーの家』(BL出版、2010年)などの原画を展示しています。いまい氏の描く動物は、今にも動き出しそうなリアルなタッチの毛並みが特徴です。

8月1日(金)～10月6日(月)まで、『チャッピーの家』の主演チャッピーと、『ベルナルさんのぼうし』の主演ベルナルさんと写真が撮れるフォトスポットイベントを開催します!いまい氏の作品とともに、どうぶつ絵本の世界をお楽しみください。



▲いまいあやの氏の絵本原画を展示する展示室



▲8月1日より、「チャッピー」と「ベルナルさん」のフォトスポットが館内に登場

【お問い合わせ先】

ムーゼの森 軽井沢絵本の森美術館 【TEL】0267-48-3340【E-mail】info@museen.org

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 182 (ムーゼの森) FAX : 0267-48-2006

企画展特集サイト <http://museen.org/event/>